貴重な鉄製品など見学

現地説明会に約100人

割沢遺跡の現地説明会が７月14日行われました。説明会には地区住民ら約100人が訪れ、江戸時代後期の鉄山の操業を裏付ける鍛冶炉跡や鉄製品、陶磁器などを見学しました。

埋蔵文化財センターの北村忠昭調査員から説明を受ける皆さん

今回の調査で確認された遺構などは、主に割沢鉄山が操業されていた江戸時代のものです。主なものを紹介します。

【鍛冶炉】

鍛冶炉は４基見つかっています。砂鉄などで作られた鉄には木炭や鉄さいなどの不純物が多く入っているため、その不純物を取り除く大鍛冶で使われる炉と考えられます。

【堀立柱建物】

鍛冶炉の上屋と考えられる建物や鉄作りに関係した小屋ではないかと思われるものが３棟発見されています。柱の穴は直径が40～50センチ、深さは50～80センチと規模の大きなものです。

【排滓場】

鉄作りの際にでる鉄のかす状ものである鉄滓などを捨てた場所です。川沿いに３カ所見つかっています。鉄かすはすべて合わせると18トンにも及びます。

出土品を見学する皆さん

そのほか鉄作りの人たちが使っていた陶磁器や寛永通寶（古銭）、釘、煙管、かんざしなどの銅製品も見つかっています。また、羽口といわれる製鉄や鍛冶の作業で火の力を強めるための風を送る筒状の装置も中コンテナで約14箱見つかっています。

鉄山跡の貴重な遺跡

今回の調査では「割沢御鉄山雑書」に見られるような、鉄山を構成した鍛冶炉や建物などの一部が見つかり、文化11（1814）年から文政12（1829）年に操業されたという割沢鉄山の一部ですが把握することができました。

このほか３ページの山内図にあるような、砂鉄から鉄を取り出す作業を行う「高殿」や鉄作りに携わった人たちの住居は発見されませんでしたが、高殿の位置は、今回調査した場所の南側に存在する可能性があり、山の上の方に陶磁器がたくさん見つかる場所があるとのことから、少し離れた場所ですが、鉄作りの人たちの住居があった可能性が高いと考えられます。

県内で製鉄遺跡の発掘調査は少なく鉄山操業時の様子がうかがえる割沢遺跡は、貴重な遺跡であることは疑いありません。

「鍛冶炉や柱跡にびっくり」

佐々木儀三郎さん
（萩牛・86歳）

おふくろのひいじいさんが割沢鉄山で働いていたというのを、おふくろから聞いたことがあります。砂鉄を運ぶ人夫だったようです。家にも40センチぐらいの延べ鉦がありました。説明会では、鍛冶炉の跡が４つ出たというので、びっくりしました。

「鉄山があったんですね」

坂本　キミさん
（萩牛・80歳）

30年以上も前ですが、以前、萩牛の道路工事をしていたら、鉄山で働いた人のお墓がありました。そのときかんざしが見つかったのを覚えています。説明会に行ってかんざしも見つかったようで、やっぱりここに鉄山があったんだなーと思いました。

「佐賀県の磁器に驚いた」

見嶽　重次郎さん
（萩牛・68歳）

割沢鉄山の本を読んだことがあり、割沢の発掘には興味を持っていました。農道の法面も一部黒土（砂鉄）が見えています。やっぱり萩牛は砂鉄が多いようです。説明会では磁器など佐賀県のものがあったようですが、驚きました。

【参考文献】「割沢御鉄山雑書」（大森竹之助著）、『たたらってなに』（村郷土史編纂委員会）

「社会福祉に役立てて」

工藤所長 村に30万円贈る

深渡宏村長に寄付を手渡す
工藤正一郎医科診療所長

娘が普代児童館でお世話になりました。村の社会福祉に役立ててください――と、工藤正一郎医科診療所長が７月10日、現金30万円を深渡宏村長に贈りました。

深渡村長は「ありがとうございます。大切に使わせていただきます」とお礼を述べました。村では子育て支援事業などに有効活用したいと考えています。

防ごう 犯罪と非行

普代中生がメッセージ伝達

法務大臣のメッセージを読み上げる深渡春香さん

法務省が主唱する社会を明るくする運動強化月間に合わせ、久慈地区保護司会（柏木睦夫会長）は７月３日、役場を訪れました。

同会のメンバーと役場職員が集まる中、普代中３年の深渡春香さん、日向啓太君、道上真奈さんの３人が１日保護司に任命され、深渡さんが法務大臣のメッセージを読み上げました。

同月11日には、普代郵便局付近で、普代中執行部を中心とした生徒ら15人が街頭に立ち、「防ごう犯罪と非行　助けよう立ち直り」と今年の重点目標が書かれた啓発チラシなどを配りました。

啓発チラシを配る中学生ら

村内の登記事務は９/25から宮古支局に変わりますよ!!

これまでは盛岡法務局久慈出張所で取り扱っていた村内の不動産登記、商業・法人登記の事務が、９月25日から宮古支局に変わります。

同時にコンピュータによる事務処理やオンラインによる申請の取り扱いを始めますので、インターネットを利用した登記申請や登記事項証明書の請求もできるようになります。

これに伴い、登記簿の謄・抄本に代えて、「登記事項証明書」を交付し、登記簿の閲覧制度は廃止され、これに代えて「登記事項要約書」を交付します。

また、登記事項証明書、印鑑証明書をインターネットを利用して請求できる「証明書オンライン請求サービス」、登記事項を事務所や自宅のパソコンから確認できる「登記情報提供サービス」も利用できます。

なお、各種図面の閲覧については、宮古支局でこれまでどおりの処理を行います。また、オンライン申請の開始で、インターネットを利用した所有権移転登記などの登記申請が可能になります。

従来、所有権移転など、不動産の権利に関する登記が完了したときには「登記済証（権利証）」を交付していましたが、これに代え、「登記識別情報通知書」、「登記完了証」が交付されることになります。

詳しくは、**盛岡地方法務局宮古支局（☎0193－62－2337）まで**お問い合わせください。

第６回村議会臨時会

▽一般会計補正予算

補正額１２６９万５千円を増額し、歳入歳出の予算総額を24億１０５５万８千円にしました。

歳入は県支出金の市町村総合補助金７９２万８千円、前年度繰越金１２１３万９千円などを増額しました。

歳出は農林水産業費の林道堀内机大沢線・集落林道鳥居線の用地取得、測量費に５７５万４千円、ウニの養殖試験の磯資源高度活用事業に１００万円、商工費の国民宿舎くろさき荘への繰出金２６２万５千円などをそれぞれ計上しています。

▽休養施設事業特別会計補正予算

国民宿舎「くろさき荘」の大浴場ボイラー入れ替え工事のための２６２万５千円を増額し歳入歳出の総額を２億５６７５万円にしました。